

170101派遣業における死傷災害事例(最大99事例まで) (2020年)

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2020	1	8 ～ 9	商品補充作業が終了し、バックヤードに戻った際、背中向き同士で立っていた同僚が振り向いた際、同僚の左肩と自分の右肩が接触して転倒し、右足大腿骨を折った。	67	2	911	500 ～ 999
2	2020	1	11 ～ 12	倉庫内3Fで棚入れ作業中、繰り返し台車の商品(1～2kg)を棚に入れる際、無理な体勢で腰をひねり、変形性腰椎症、座骨神経痛、変形性頸椎症、頸椎症性神経根症を発症した。	66	19	611	30～ 49
3	2020	1	14 ～ 15	工場内の伸線機で、材料(伸線)を巻き取りドラムに定量巻きした後、操作盤のセレクトスイッチを切った。線材が設備用のガイドに当たらないか目視で確認しようとし、右足をフットスイッチに乗せたまま、左に移動した。その際、伸線押さえロールがアンクランプ端まで来て、枠に添えていた左手中指を挟んで切断した。	49	7	169	100 ～ 299
4	2020	1	14 ～ 15	資材置場にて、立て膝の姿勢で裁断作業中、カッターの刃が5mm露出しており、右手で持ったカッター刃で左手親指の付け根と左手親指球に裂傷を負った。	30	8	364	100 ～ 299
5	2020	1	2 ～ 3	ステージ資材を数十名で持ち上げ移動中、段差(70cm～80cm)を下りる際、工具を踏み、左足をひねり骨折した。	48	3	417	50～ 99
6	2020	1	18 ～ 19	ゴムの製造工程で、プレス開始時に警告音が鳴ったにもかかわらず支柱を掴んでいたため手を挟まれ、左中指を骨折した。	22	7	154	100 ～ 299

7	2020	1	19 ～ 20	清掃時に、動かした重い機械（レントゲン機械）を定位置に戻す際、機械が崩れてきたため左手で止めようとしたところ、親指付け根の軟骨を損傷した。	61	5	391	～ 499
8	2020	2	7 ～ 8	製鋼工場で底部外面の溶接補修が終了したスラグバックを反転するため玉掛作業を行っていたとき、吊り手とバランスの間に左手小指先端部を挟まれ切断した。	68	7	372	50～ 99
9	2020	2	9 ～ 10	スーパー惣菜売り場横のスイングドアより、商品陳列のため売り場に出ようとしたところ、通路に可動台が置いてあることに気が付かず、可動台の脚に足を引っ掛けて転倒し、右膝蓋骨を折った。	55	2	417	500 ～ 999
10	2020	2	18 ～ 19	派遣就業先の階段で、業務終了後、帰宅のため4Fから3Fへ下りる途中、自身の鞆にスマートフォンをしまうとき、1段踏み外して足首が内側に曲がり、左足首にヒビが入った。	45	1	413	50～ 99
11	2020	2	15 ～ 16	倉庫内で、パンの箱を積む作業中、中腰姿勢で長時間作業した際、腰痛を負った。	26	19	611	1000 ～ 9999
12	2020	2	11 ～ 12	デイサービス施設浴室を清掃していたところ、濡れた床で足を滑らせて転倒し尻もちをついて、第2・3腰椎を骨折した。	40	2	416	300 ～ 499
13	2020	2	10 ～ 11	製造部品に鉄製のチェーンフックを掛ける際、フックの向きを間違えて装着して、修正しようとして部品のバランスが崩れ、部品下にある盤木と部品の上に指を挟んでしまい、左手指に開放骨折を負った。	46	7	611	10～ 29
14	2020	2	11 ～ 12	惣菜作業場でお好み焼きの調理中、ハサミでお好みソースをカットする際、押さえていた左手の薬指に当たって切傷を負った。	38	8	364	100 ～ 299
			14	木材の製材作業中、反対側の様子を見に行こうと左手をチェーン				

15	2020	3	～ 15	の上に乘せ、ベルトコンベアを跨ごうとしたときに、手を乗せていたチェーンが動いたため、とっさにチェーンを掴んだ瞬間に左手の中指と薬指が挟まれ、切断した。	68	7	224	50～ 99
16	2020	3	11 ～ 12	鮮魚を加工する場所で、かつおのたたきのパックを切る作業をしていた。その際、パックの中からかつおのたたきを取り出すために、包丁でパックの左上端を切ったところ、かつおのたたきを掴んでいた左手小指に切傷を負った。	65	8	364	100 ～ 299
17	2020	3	10 ～ 11	作業中、カゴ車に荷物を積んでいる際に腰をひねって、腰の筋肉を断裂した。	57	19	921	300 ～ 499
18	2020	3	～ 16	派遣先店舗のバックヤードで、カゴ台車の片付け作業中、脱輪したカゴ台車とともにプラットホームより落下した際、体を打ち付け、頭部、腰、右肩を打撲した。	71	1	362	1000 ～ 9999
19	2020	3	～ 18	充填室で清掃作業後、歩いて移動中に、高さ約10～15cmのホースを跨ごうとしたところ、足が引っ掛かって転倒し、左足の左後方十字靭帯を剥離骨折した。	67	2	417	50～ 99
20	2020	3	～ 13	施設内で、トイレに行き、水が漏れ出していて、足が滑り転倒した。その際、左肘を床に打ち腰をひねり、左肘、腰部に挫傷を負った。	35	2	417	100 ～ 299
21	2020	3	～ 17	倉庫内を徒歩で移動しているとき、後退してきた立ち乗りフォークリフトに左足小指付近を轢かれ左足甲を打撲した。	17	7	222	50～ 99
22	2020	3	～ 19	2階作業場で、商品の入った段ボールケース（高さ約70cm）を検品レーンに流すため、パレットに2段に積まれた上段の商品を持ち上げた際、右手首に激痛が走り骨折した。	53	19	611	300 ～ 499
23	2020	3	～ 19	出張から戻った後発熱し、検査を受けたところ、新型コロナウイルス感染症の陽性と判明した。	43	90	911	1～9

			20						
24	2020	3	8 ～ 9	2層構造の棚板を張り合わせる際、板と板の間に糊付けされた木枠を固定させる作業中、固まった糊をヘラで除去する際に足下がふらつき、支えようとした左手がローラーに当たり巻き込まれ、薬指と小指に裂傷および皮膚剥奪症を負った。	40	7	139	300 ～ 499	
25	2020	4	17 ～ 18	派遣先で休憩所から作業場へ向かい歩いていた際、角を曲がった所で、床と同じ色のパレットがあることに気付かずつまずいて転倒し、左膝挫創を負った。	26	2	417	30～ 49	
26	2020	4	14 ～ 15	倉庫内で鮮魚を発砲スチロール製の入れ物から氷が敷かれた平たいケースに置き換える作業を行っていたところ、右手首の靭帯部分断裂を負い、腱交叉症候群を発症した。	35	19	911	30～ 49	
27	2020	4	14 ～ 15	鶏卵を載せるため空の台車を移動中、台車が倒れて下敷きになり、右肩と右手親指を打撲した。	25	5	362	300 ～ 499	
28	2020	4	19 ～ 20	食品工場内で、段ボール（24kg）を運搬中、一段ずつ積み上げ、3つ目の段ボールを入れる際、左肩腱筋に損傷、断裂を負った。	43	19	611	100 ～ 299	
29	2020	4	23 ～ 24	保冷倉庫で荷物の載った台車を押している際、腰に違和感があった。その後、しゃがんで作業を続けているうちに激痛となり急性腰痛症を発症した。	20	19	362	100 ～ 299	
30	2020	4	21 ～ 22	ハンガーショット工程で、リングに製品（約130kg）をクレーンを使って並べていた際、吊っていた製品が他の製品に接触して約30cmの高さから落下し、右足に当たって親指を骨折した。	64	4	521	50～ 99	
31	2020	5	11 ～ 12	牛舎で家畜（牛）予防接種作業中、対象の牛を背面で押さえつけた際、牛が暴れて、左足脛脛から踝を蹴られて転倒し、左腓骨を折った。	84	6	719	50～ 99	
			14	派遣先支店でPPバンドおよびラップの片付け作業中、同僚が運転					



40	2020	6	23 ～ 24	慢性的な腰痛があり、屈んだ状態で棚の一番下にある資材（10kg）を奥から手前に出した後、立ち上がったときに腰に痛みが生じた。その後も勤務を続けていたところ、痛みが増し、筋筋膜性腰痛症を発症した。	43	19	611	100 ～ 299
41	2020	6	9 ～ 10	屋内の家具搬出作業中、水分補給を行っていたが、意識を失い痙攣を起こし、熱中症を発症した。	42	11	715	1～9
42	2020	6	20 ～ 21	水封テスト装置修理のため、ワークをクランプした状態でエアリークテスト機の水槽内で作業をしていた。その際、エアリーク部を右手で触っているときに、テスト終了ボタンを腹部で押し、テスト中のワークが上昇してアンクランプして右手をテスト装置に挟まれて骨折した。	45	7	169	500 ～ 999
43	2020	6	19 ～ 20	粉碎機横の通路で、地下への昇降口の蓋がずれており、その蓋を右足で踏んだときに外れ、右足が昇降口へはまり、左足甲を捻挫した。	57	2	418	50～ 99
44	2020	6	11 ～ 12	工場内で鋳物製品仕上げの際、しゃがんだ体勢で修正作業を行っていたところ、製品が倒れ脛に落ちて、右足踵が圧迫され骨折した。	28	4	611	100 ～ 299
45	2020	7	6 ～ 7	残業中、廃棄物を台車に乗せて運ぶ作業中、洗浄室から仕込み室へ続く平坦な通路を後ろ向きで台車を引っ張って通ろうとしたところ、通路が狭く、後ろを見ながら引いたため、台車に勢いがつき、台車の足部分が両足首辺りに何度もぶつかり、両足首に打撲挫傷を負った。	59	6	362	30～ 49
46	2020	7	13 ～ 14	倉庫内で積み込み作業中、約6～8kgの荷物を作業スペースの取れない状態で無理な体勢のまま持ち上げたとき、腰に鋭い痛みが走り、急性腰痛症を発症した。	37	19	611	300 ～ 499
47	2020	7	9 ～	デイサービスの送迎中、利用者を車内へ誘導し、車のドアを閉め	50	7	231	1000 ～

			10	るとき、指を挟んで、左第2指末節骨を折った。				9999
48	2020	7	6 ～ 7	支店構内で、使用した台車を構内の中央に戻すため、停止中のリフトの横を通り過ぎようとしたとき、リフトが発進して台車に接触した。その際、腹部と腰部に台車の持ち手がぶつかり、打撲傷を負った。	47	6	222	100 ～ 299
49	2020	7	18 ～ 19	施設階段で、2階から1階へ下りる際、着地していることに気付かず、バランスを崩し転倒した。このとき、右膝をコンクリート床に打ち、右膝蓋骨を折った。	59	2	417	100 ～ 299
50	2020	7	17 ～ 18	作業場から更衣室がある建物に移動する際、高さ10cmほどの段差を下りようとしたとき、右足を強く挫き、右足の外側踝辺りの骨折と靭帯損傷を負った。	59	19	413	10～ 29
51	2020	7	9 ～ 10	場内観客席の清掃作業中、転倒防止用の金属製手摺りに後頭部をぶつけて、後頭部に打撲を負った。	23	3	419	100 ～ 299
52	2020	7	10 ～ 11	工場で、離型剤を発泡型に吹き付ける作業を行っていた際、手袋をしていなかったため離型剤が左手にかかり、甲から手首にかけて熱傷を負った。	45	11	391	100 ～ 299
53	2020	7	10 ～ 11	ゴミ収集場で、ダストボックス内の段ボールをパッカー車に積載作業中、ダストボックスの蓋が頭部に落下し、頭部裂傷を負った。	68	6	391	30～ 49
54	2020	8	23 ～ 24	工場内でシートカットの作業中、刃に糊が付着したため、機械の電源を切り作業手袋を着用してウエスで上刃のかすり作業をしていた際、力が入りすぎて右示指に切創を負った。	27	8	169	100 ～ 299
55	2020	8	16 ～ 17	商品の入ったカゴ台車を2台、後ろ向きに引いて所定の場所へ搬送中、角を曲がる時、遠心力でカゴ台車のバランスが崩れた。立て直そうとカゴ台車を引っ張った際、右足小指を轢いて、右足小指第一関節を骨折した。	41	7	362	100 ～ 299

56	2020	8	15 ～ 16	作業場で就業中に、水酸化ナトリウムの入ったポリビンに水を注入して溶かそうとしたところ、爆発的に化学反応を起こし、沸騰したようになった。その際、ビンから吹き上がった液体が水しぶきのように体に掛かり、頭、顔、両腕、上半身に熱傷を負った。	47	12	514	50～ 99
57	2020	8	10 ～ 11	熱処理前の素材を設備リフト部に投入していたとき、素材が斜めになっていたので向きを直そうとした。トラバーサーを動かしてリフト前に移動したとき、搬送側のコロコンと素材の間に右足を挟んで骨折し、肋骨を折り、右肘の皮膚が欠損した。	64	7	611	50～ 99
58	2020	8	10 ～ 11	施設休憩所で、出入口のサッシの下枠（高さ2cm）に左足を引っ掛け、地面（高さ35cm）へ落下しそうになり、右足がコンクリートブロック（39cm×19cm×高さ10cm）を踏み外して足首をひねり、転倒した。このとき、右足関節を骨折した。	30	3	417	100 ～ 299
59	2020	8	3 ～ 4	工場内で、シート搬送用の作業台（高さ40cm、フリーボール付）の上で、シートが載っているパレット（敷板）を両手で引き込んだ際、パレットと作業台の間に左足が挟まれ、床面に転落して、左肋骨を折った。	47	1	371	100 ～ 299
60	2020	8	13 ～ 14	事業所内3階のピッキングエリアで、2段目の棚にあるオリコン内の缶商品をまとめて取ろうとした。その際、棚とオリコンの間に左手中指を挟み、指の付け根から第二関節までが腫れあがった。	48	7	611	500 ～ 999
61	2020	8	23 ～ 24	フォークリフトでトラックに荷積み作業中、冷凍庫から出庫されたパレットはプラットホーム内で濡れた状態で滑りやすく、パレットを5枚重ねた際、手が滑り、パレットの上下間で右手小指を挟み、右第5指末節骨を折った。	22	7	379	30～ 49
62	2020	8	15 ～ 16	森林伐採の調査後、下山途中に浅瀬の川（川幅3m、水深20cm）があり、川の中にある石（30cm間隔、計6個）を徒歩で渡ろうとした際、石が水で濡れていて体重をかけたとき、後方へ滑って着地し、左小指骨折、臀部打撲を負った。	71	2	713	30～ 49
			11					100



63	2020	9	～ 12	調理食品部で形成作業の際、右肩に痛みを感じ、右肩腱板断裂と診断された。	67	19	921	～ 299
64	2020	9	～ 12	派遣先で、電動ハンドリフトで鶏卵を積載するためのパレットの補充作業中、パレットを置いた後ハンドリフトを引き抜こうとしたところ、足下にあったパレットに気付かずつまずいて転倒したため、ハンドルが引き下がり急発進したハンドリフトに左足が挟まれ左脛骨、腓骨を折った。	62	2	379	～ 999
65	2020	9	2 ～ 3	棚卸時に、重なった箱を上段から下ろす際、箱は重く、本来2名で行う作業を1人で行い、変形性腰椎症を発症した。	44	19	611	500 ～ 999
66	2020	9	～ 12	病棟で複数職員が新型コロナウイルス罹患したことに伴い、PCR検査を実施したところ陽性と判定され、新型コロナウイルス感染による肺炎を発症した。	55	90	911	300 ～ 499
67	2020	9	～ 13	派遣先である介護施設内で、入居者の新型コロナウイルス陽性が発覚したため、PCR検査を実施したところ陽性と判定され、新型コロナウイルス感染症を発症した。	25	90	911	100 ～ 299
68	2020	9	10 ～ 11	店舗内のレジで、重量のある精算カゴをサッカー一台に置こうとしたとき、無理な姿勢になり、腰を捻挫した。	41	19	921	30～ 49
69	2020	9	～ 16	工場で、金型から金型の一部を外す作業中、ネジを外したときに金型の一部（約20kg）が落下し、左足首に当たり、左下腿に打撲傷を負った。	32	4	521	500 ～ 999
70	2020	9	17 ～ 18	施設居室内で、利用者のオムツ交換中、体位変換するため、利用者の体を押した際、急性腰痛症を発症した。	55	19	921	100 ～ 299
71	2020	9	～	派遣先駐車場で就業前、駐車しようとして右折した際、電柱と石横のフェンスにぶつかり、ハンドルで胸部を打ち、打撲傷を負っ	51	3	231	50～

			12	た。				99
72	2020	9	5 6	宅配便の仕分け作業中、連結式のベルトコンベアを作動させて、業務をしていた際、荷物が連結部に落ちそうになったため、咄嗟に左手で荷物を押さえたところ、回転するベルトコンベアの力に負けて連結部に手を吸われ、左手中指および薬指に裂傷を負った。	23	7	224	500 ～ 999
73	2020	10	23 24	派遣先組み立て工場のファイナル工程で車両バックドア廻りの部品を組み付け中、目まいを起こし、エルゴステップ（高さ190mm×幅300mm×長さ1000mm）から崩れるように転倒した際、右手を床につき手首をひねって捻挫した。	30	2	416	300 ～ 499
74	2020	10	14 15	派遣先の施設で、長身の利用者を車椅子から便座へ移乗した際、正面から体を抱えながら支えたところ、右膝に負荷が掛かって痛みを感じ、挫傷を負った。	62	19	719	500 ～ 999
75	2020	10	17 18	定時勤務後の残業時間中に利用者居室で介助業務を終え、廊下へ出ようとしたところ、急に意識が朦朧となった。その際、出入口の半開きになったスライドドアへ右眼および右肩を強打し、そのまま廊下の床面へ右顔面から倒れ込み、右急性硬膜下血腫および右顔面挫創、右頬骨と上顎骨骨折を負った。	40	3	418	50～ 99
76	2020	10	12 13	模擬試験の試験会場である高等学校で、答案の回収をするため、教壇から窓側前列に向かおうとしたところ、教壇上で左足をつまずいて転倒し、教壇の角に左膝を打ち付け、左膝蓋骨を折った。	53	2	416	10～ 29
77	2020	10	15 16	仕分けした台車を移動する際、ボールペンがポケットから落下したので、左手で拾おうとしたところ、人差し指を台車に踏まれて骨折し、爪が剥がれた。	70	7	362	100 ～ 299
78	2020	10	16 17	不良品廃棄場で、廃棄品をトラック荷台上に乗りハンマーを使用し割る作業中、荷台縁に足を掛けた際、滑り地面に足をつき、左第3、4中足骨を折った。	38	3	221	30～ 49

79	2020	10	17 ～ 18	園児と部屋を移動中、園児用椅子に右足小指をぶつけて骨折した。	80	3	391	～ 9999
80	2020	10	15 ～ 16	冷蔵倉庫内で仕分中、積上げていたコンテナが不安定な状態であったため、台車とコンテナの間に手を入れ作業していたところ、重みにより左示指に痛みを感じ、左末節骨を折り、マレット指となった。	40	19	391	100 ～ 299
81	2020	10	9 ～ 10	送迎バスから利用者を車椅子に移乗介助する際、腰に痛みを感じて、腰椎部挫傷、腰椎椎間板ヘルニアを発症した。	36	19	921	100 ～ 299
82	2020	11	13 ～ 14	検品室で包装機のロール紙交換時に新品のロール紙を持ち上げたとき、重量があったため、持ち直そうとした際に、手を滑らせてロール紙と台座の間に挟んで、右手薬指に挫傷を負った。	28	7	529	1000 ～ 9999
83	2020	11	11 ～ 12	派遣先の病院で、印刷室前の廊下で大量の書籍をカートで運んでいたところ、つまずいて転倒し、左足首・左手首・首を捻挫した。	50	2	362	1000 ～ 9999
84	2020	11	10 ～ 11	市場倉庫内で、菌茸商品の在庫取り作業を行っていたとき、8段積の段ボールが崩れて直撃し、後頭部、背中、腰を打撲した。	27	5	611	50～ 99
85	2020	11	11 ～ 12	派遣先で、段ボールラックの途切れ部分（十字路）に入りピッキング作業中、通路にはみ出していたカゴ台車を、通路を直進する他のピッキングスタッフが手で被災者側に押して移動した。その際、驚いて咄嗟に体をひねり接触を避けようとして、腰椎を捻挫した。	43	19	362	100 ～ 299
86	2020	11	9 ～ 10	物流センターで、トラックのコンテナ内で高さ2.2mの高さに積み込まれているタイヤ（3kg／1個）を台車に積み替える作業中、手前に引っ張った際、タイヤが自分の方に崩れた。その際、台車に足を引っ掛け、左手から転倒し、左手首を骨折した。	57	2	362	100 ～ 299

87	2020	11	13 ～ 14	倉庫で、置かれた箱と自分の持っている箱の間で、右手親指が挟まれ、打撲傷・挫傷・膿瘍を負った。	25	7	391	～ 299	100
88	2020	11	15 ～ 16	リフト乗車中、バックで走行してアクセルを離し、左足を後方の地面に降ろした際、惰性で動いていたリフト後ろ側のガード部分に、左足の内側から踵部分を巻き込まれて裂傷を負った。	60	7	222	～ 299	100
89	2020	11	11 ～ 12	商品が入ったケース10段を台車に載せて運搬していた際、バランスを崩して右足をひねり、母趾を亀裂骨折した。	47	19	611	～ 299	100
90	2020	11	17 ～ 18	保育園でトイレ清掃中、遊戯室ステージ奥にトイレマットを取りに行き、慌てていたためステージの段差（約20cm）につまずき転倒し、右橈骨遠位端を折った。	38	2	418	～ 499	300
91	2020	12	7 ～ 8	構内製品倉庫前の通路で巡回中、凍結路面で滑って転倒し、右足首をひねって骨折した。	70	2	719	30～ 49	
92	2020	12	14 ～ 15	成鶏舎内でトラフ拭きの作業中、ケージの6段目に足を乗せている状態で、付近に置いていた台車からバケツを取ろうとした際、左足をケージから滑らせて落下し、左足首を捻挫した。	34	1	419	1～9	
93	2020	12	14 ～ 15	生産ラインで消耗部品の交換作業をしているとき、ライン上部の消耗部品取り付け部に触れるため、40cm程度の台に上っている環境で、足下後方にある工具を拾うために、振り返りつつ、しゃがみこんだときに、よろけて台から落下し、体を支えるために手をつき、左手中指基節骨を亀裂骨折した。	30	1	371	～ 299	100
94	2020	12	8 ～ 9	居室内で転倒した利用者を、後方から両脇を抱えて立ちあがるとき、利用者が足を滑らせ、咄嗟に支えたところ、腰椎捻挫および第5腰椎圧迫骨折した。	60	19	921	～ 9999	1000
			15	会社敷地内で事務所向かう途中、チェーン巻きをするよう連絡				50～	

95	2020	12	～ 16	があり、トラックから降りたとき、足が地面に上手く接地せず、 右足第5中足骨を折った。	45	19	221	99
96	2020	12	～ 15	工場内で、梱包資材の組立作業中、鉄製の支柱を取り出し、手袋 を外し、右手で掴んだ際、右手親指に切創を負った。	60	8	521	300 ～ 499
97	2020	12	～ 18	勤務先で、クラスターが発生しており、PCR検査を実施し、陽性判 定となり、新型コロナウイルス感染症を発症した。	46	90	911	100 ～ 299
98	2020	12	～ 8	製錬所に産業廃棄物の引き取りのため大型トラック（タンクロー リー12t）で行き、トラック運転席から降りるとき、左足を乗降用 ステップに掛け、約90cmの高さを右足から飛び降りた。その際、 アスファルト地面に着地し、右腰と右太腿に痛みが走り、右座骨 神経損傷を負った。	57	19	221	30～ 49
99	2020	12	～ 20	医療センターの入院病棟で、看護助手として勤務していた。院内 に新型コロナウイルス感染者が確認され、マスクや防護衣などで 予防していたが、当該職員も陽性が判明した。	39	90	911	100 ～ 299

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.html](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html)(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害事例\(最大99事例まで\) \(2020年\)](#)に戻る。